



2019年5月14日

各 位

会社名 株式会社 ヨータイ
 代表者名 取締役社長 馬場 和徳
 (コード番号 5357 東証第1部)
 問合せ先 取締役本社業務部長 竹林 真一郎
 電話番号 (TEL: 072-430-2100)

2019年3月期連結業績予想値と実績値との差異 及び剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

2018年8月9日に公表しました2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)通期連結業績予想値と本日発表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、2019年5月14日開催の取締役会において、以下のとおり、2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

なお、当社は取締役会決議により剰余金の配当を行うことが出来る旨を定款に定めております。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

(1) 2019年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純 利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,000	百万円 3,600	百万円 3,700	百万円 2,600	円 銭 118.30
今回実績(B)	27,875	5,134	5,224	3,610	164.29
増減額(B-A)	2,875	1,534	1,524	1,010	—
増減率(%)	11.5	42.6	41.2	38.9	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	24,217	3,559	3,663	2,625	119.44

(2) 差異の理由

2019年3月期の通期連結業績につきましては、第4四半期に入って電子部品業界の減速があったものの、懸念していた「米国発の貿易摩擦」「中国経済の減速」などによる世界景気の減速は発現なく、国内景気は引き続き好調で、主要得意先である鉄鋼メーカーは高い生産量を維持し、耐火物の需要も堅調であったため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回発表の予想を上回りました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年11月8日)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2019年3月31日	同左	2018年3月31日
1株当たり配当金	8円00銭	5円00銭	7円00銭
配当金総額	175百万円	—	153百万円
効力発生日	2019年6月27日	—	2018年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、安定した配当の継続を基本に、企業の財務体質の強化を図るとともに内部資金の充実を進めつつ収益に対応した配当を行い、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、2019年3月期の連結業績結果を踏まえ、期末配当金につきましては前回発表予想の5円に対し3円増配の1株当たり8円といたします。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期実績 (2019年3月期)	7円00銭	8円00銭	15円00銭
前期実績 (2018年3月期)	5円00銭	7円00銭	12円00銭

以 上